

# 株式会社スタジオディテイルズの グループ参画について

株式会社グッドパッチ（証券コード：7351）

2021年12月22日



## グッドパッチ初のM&Aはデザイン会社同士のグループ形成

STUDIO DETAILS

G O D I S I N T H E D E T A I L S



Goodpatch

Design to empower♥

- 01 本件概要
- 02 株式会社スタジオディテイルズについて
- 03 グループ参画の目的
- 04 **APPENDIX**

# 本件概要

## 株式会社スタジオディテイルズの株式を100%取得、グッドパッチグループへ参画

- MSワラントの調達資金を活用し、株式会社スタジオディテイルズ（以下、ディテイルズ）の株式を100%取得
- FY2022 2Qは貸借対照表のみを連結対象とし、FY2022 3Qより損益計算書を連結対象とする予定

契約締結日	2021年12月22日
株式取得実行日	2021年12月22日
取得価額	非公表 <sup>※</sup>
取得持分	100%
取得資金	手元現預金
当期業績への影響	精査中

※本件につきましては、相手先との守秘義務契約により、開示は控えさせていただきますが、1億円以上のM&A案件に該当するため2021年1月22日に公表した『第三者割当による行使価額修正条項付第6回及び第7回新株予約権（行使指定・停止指定条項付）の発行に関するお知らせ』に記載した内容に基づき、当社第7回新株予約権の停止指定が失効するものとなります。

# 株式会社スタジオディテイルズについて

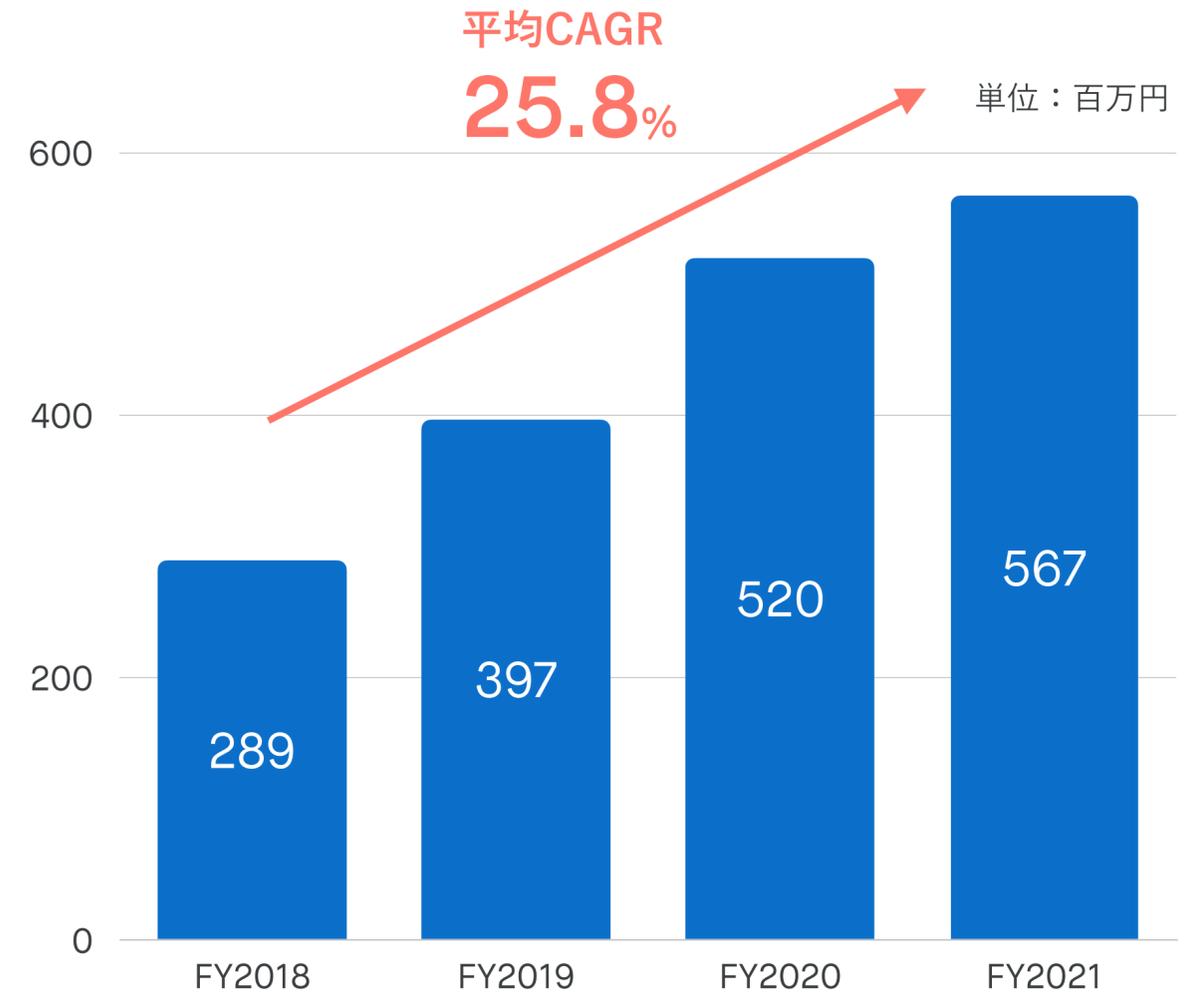
## DXの拡大を受け成長を加速する名古屋発祥のデジタルブランディングファーム

## 会社概要

会社名	株式会社スタジオディテイルズ
所在地	愛知県名古屋市、東京都渋谷区
代表者	海部 洋
事業内容	ブランド戦略策定コンサルティング、 広告・Webサイト・スマートフォンアプリ等の 企画・立案・制作、その他
設立	2009年1月
決算期	9月
資本金	1,000万円
従業員数※	25人
獲得した デザインアワード	50以上

※2021年9月末現在、うちデザイン人材は24人

## ディテイルズの売上高の推移



コロナウイルスによる景気停滞とは逆行した業容の急拡大が続く

## 現経営陣はグループ参画後もグッドパッチとともに同社の成長を牽引する



**海部 洋** (Kaifu Hiroshi)

### 代表取締役社長

2009年に株式会社スタジオディテイルズを創業し、代表取締役兼クリエイティブディレクターに就任。2017年にはSoftBank Innoventureにてシェアサイクリング・プラットフォームに関する新規事業の立ち上げに携わり、取締役兼クリエイティブディレクターに就任（現在は退任）。事業開発からコンセプト開発、クリエイティブ/アートディレクションまで幅広い領域を手掛ける。



**服部 友厚** (Hattori Tomoatsu)

### 取締役副社長

2009年に株式会社スタジオディテイルズを創業し、取締役副社長に就任。2011、2012、2016、2020、2021年 グッドデザイン賞受賞、D&AD in book、One Show Merit、Pentawards Silver、The Webby Awards Winner、Design for Asia Awards Bronze、A' Design Award Gold、日本BtoB広告賞 2016 金賞、W3 Awards 2017 Goldなど50以上の広告賞を受賞。グラフィック、Web、アプリ開発、プロダクトデザインなど幅広い領域を手掛ける。

# ハイスキルなデザイン人材を数多く抱え、質の高いブランドデザインで独自のポジションを築く

## 1 独自のポジショニング

- いわゆる下請けの立場に留まらず、顧客におけるブランディング戦略パートナーの立ち位置を確立
- 自社グループと連携パートナーのテクノロジーリソースをもとに、「Design×Tech」で勝負する稀有なポジション

## 2 蓄積された強力なリソース

- 創業来、多くの国内外アワードを受賞。優秀なスペシャリストが社員として、または外部パートナーとしてディテイルズに集結する要因に
- その結果、多種多様な顧客課題に対して適切なチームアップを可能とする、質の高いタレントプールを構築

## 3 多彩な顧客ポートフォリオ

- 日本を代表するナショナルクライアント、成長企業、ベンチャー企業まで、幅広い業界を横断した100社超との継続取引
- ひねりを加えたクリエイティブ集団である持ち味を生かし、老舗企業のブランディングも得意とする

## 受賞実績の積上げ、人材・顧客の充実化が好循環を生み、2018年より業容急拡大へ

### 3要素の好循環がディテイルズを筋肉質に

#### Partner

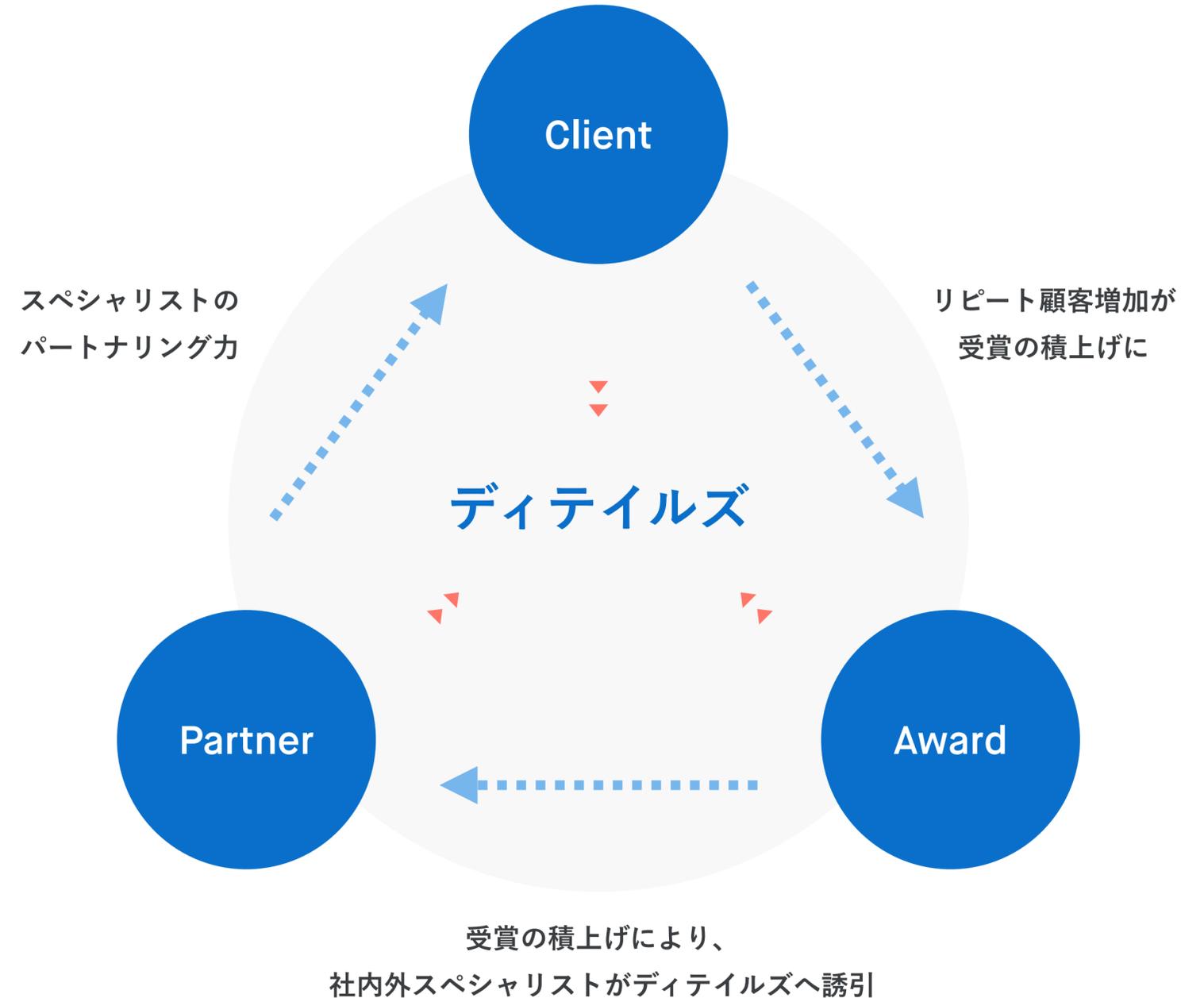
受賞実績と固定顧客の増加は、DX領域を含む各領域のスペシャリストをディテイルズに引き寄せる要因に

#### Client

適材適所のパートナーリングによる編成チームは、サービス品質向上に繋がり、固定顧客の増加要因に

#### Award

サービス品質の向上とリピート顧客の増加は、国内外アワード受賞の増加要因に



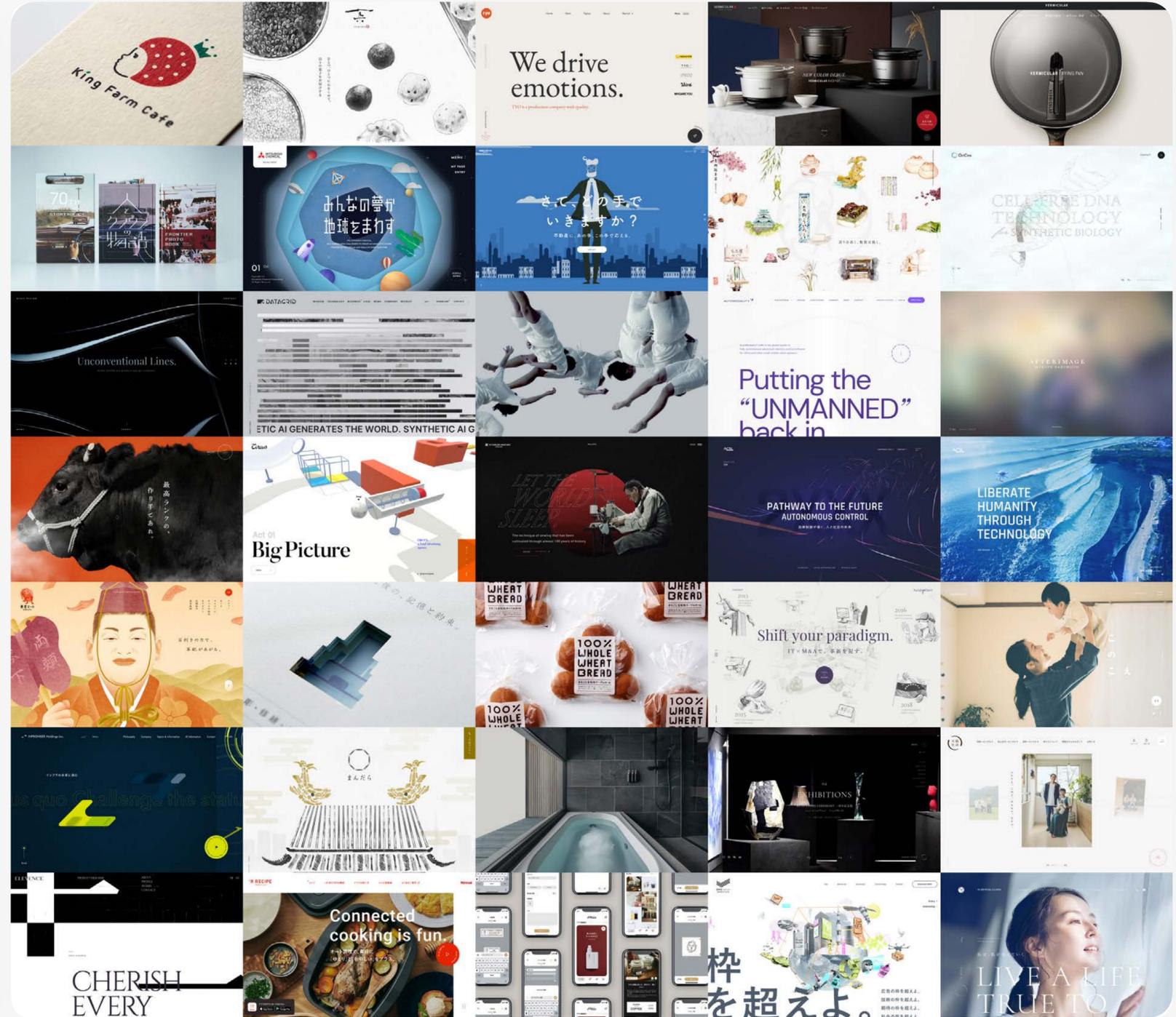
# 大手企業、テクノロジーベンチャーから老舗企業まで。多種多様な顧客ポートフォリオ

全方位の顧客企業に対して、バランス良くサービス提供

2020年9月期の顧客ポートフォリオのうち、  
21%が大手企業、17%がテクノロジーベンチャー、  
13%が老舗企業、10%が愛知大手企業

愛知県の老舗企業のリブランディング依頼が多いのも  
ディテイルズの特徴の一つ

※詳細はこちら <https://www.details.co.jp/works/>



## デジタル・アナログ問わず、創業来、領域横断で国内外アワードを受賞。強固なポジションを確立

### グッドデザイン賞

受賞内容

- 浴室暖房乾燥機用リモコン  
(2021年・ブランディング、プロダクト) 他

### Awwwards

受賞内容

- ACSL (2017年・Web) 他

### The Webby Awards

受賞内容

- KITAMURA MAKURA (2017年・Web、グラフィック) 他

### The FWA

受賞内容

- BLUES DESIGN (2018年・Web) 他

### D&DA

受賞内容

- めんぷますだ ガーゼ  
(2015年・グラフィック、ブランディング、プロダクト)

### 日本BtoB広告賞

受賞内容

- トヨタ自動車株式会社 (2016年・グラフィック)

※一部の受賞歴を掲載しております。その他の受賞歴はこちら：<https://www.details.co.jp/about/>

# グループ参画の目的

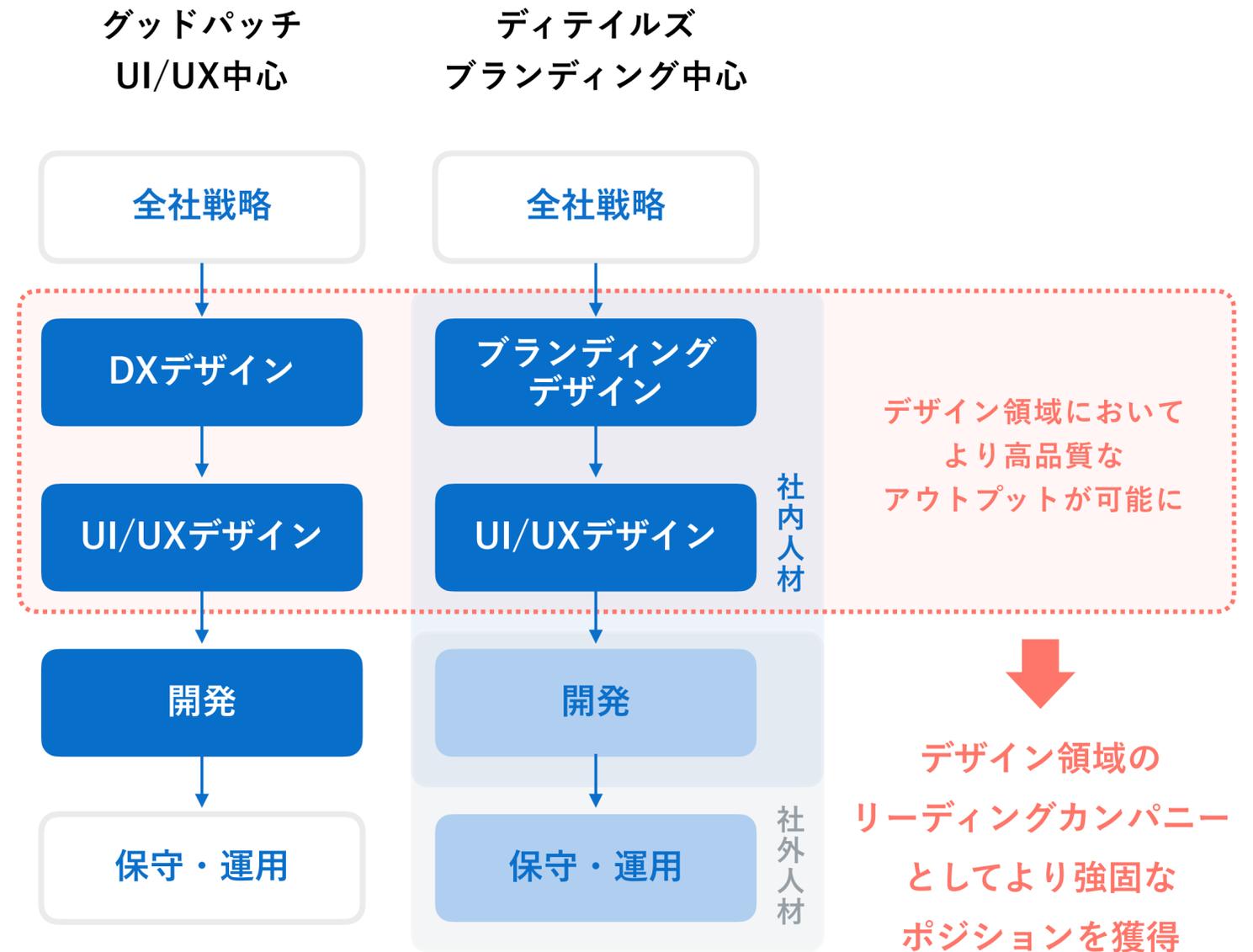
デザイン領域における総合力を高め、国内随一のデザインカンパニーのポジションを獲得する

STUDIO  
DETAILS × Goodpatch

- 1 ブランディング領域のデザインを拡充
- 2 高まるDX需要の受け皿として協働
- 3 幅広いデザイン人材の獲得を加速

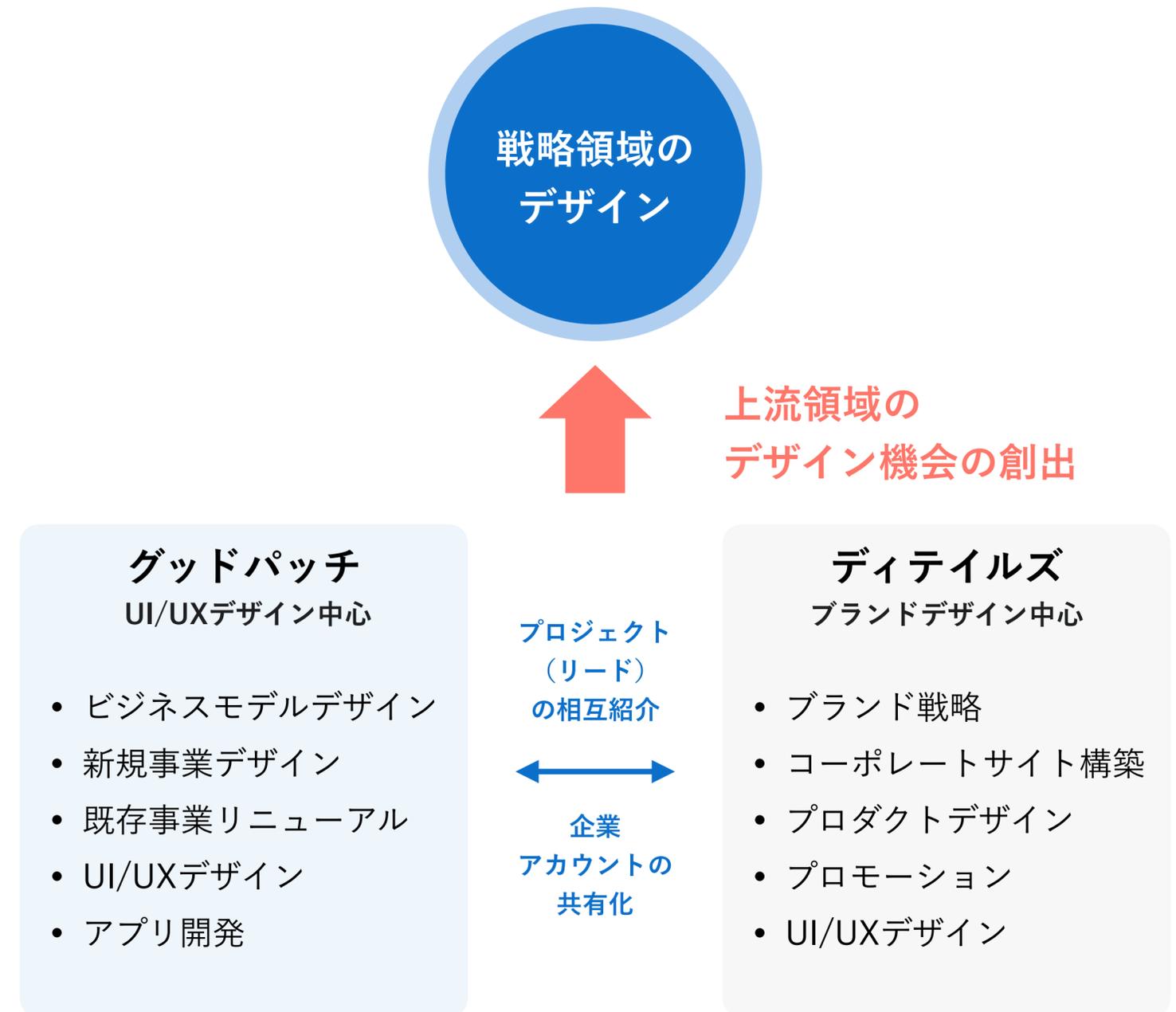
## ブランディング領域のデザインを強化し、デジタルデザインにおいて他社の追随を許さないポジションを獲得

- ディテイルズは表現力が強い、グラフィックで魅せる  
アウトプットができるデザイン人材が豊富
- ディテイルズはパートナー人材を活用し、ブランド戦略をコアに、戦略領域からグロース（広告）領域まで幅広くカバー
- 当社は戦略領域からUXデザイン、UIデザイン、アプリ開発など、UI/UXが中心であり得意領域が異なる



## 互いにリードを創出し、グッドパッチグループとして上流領域でのプレゼンスを拡大

- 各々の領域から上流へ入り、付加価値の高い戦略領域のデザイン機会を協働で創出
- 互いにリードを共有し、最適なリソースへプロジェクトを配分
- 企業単位でアカウントを共有化、企業単位の単価向上



## 異なる強みを持つデザイン人材同士の融合、それぞれの能力強化及び機会提供

- ディテイルズのデザイン人材を加え、  
当社のデザインパートナー事業のデザイン人材は  
約20%拡大し、146名へ<sup>※</sup>
- それぞれの得意領域が異なり、  
相互に刺激しながら人材の質が向上
- 今後の成長の鍵となる採用チャネルの拡張

※当社は2021年8月末、ディテイルズは2021年9月末の人員数によります。

グッドパッチの人材  
UI/UXデザイン中心

戦略デザイナー

UXデザイナー

UIデザイナー

エンジニア

122名

ディテイルズの人材  
ブランドデザイン中心

プロデューサー

アート  
ディレクター

グラフィック  
デザイナー

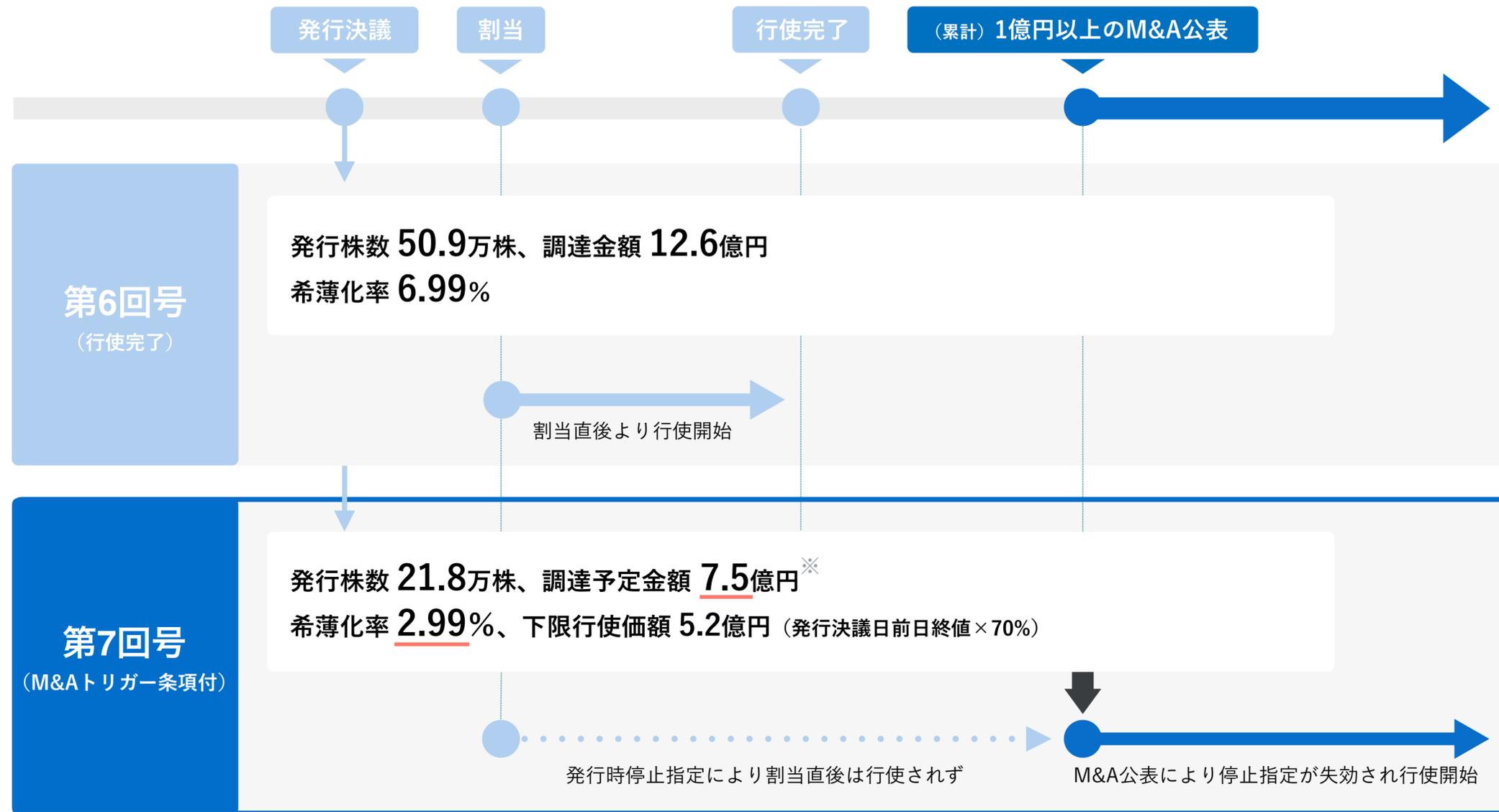
エンジニア

24名

合計146名の体制へ

# APPENDIX

# 本件公表により、MSワラントの後半部分が行使可能となり、追加的なM&A資金調達へ



※ 調達予定金額は、それぞれ当初行使価額にて全ての行使が行われた場合を前提として記載しております。

本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

# Goodpatch

Design to empower ♥